

第22回 千丁地域審議会会議録

| | |
|------|--------------------------|
| 開催日時 | 平成24年7月27日（金）15:00～16:30 |
| 開催場所 | 千丁支所2階会議室 |

■ 出席委員

| | | | | | |
|-----|-------|----|--------|----|-------|
| 会長 | 村松 鈴子 | 委員 | 竹本 美智子 | 委員 | 松浦 和久 |
| 副会長 | 福田 輝美 | 〃 | 中 寛 | 〃 | 松永 要 |
| 委員 | 川口 重信 | 〃 | 永溝 ユリ子 | | |

■ 欠席委員

| | | | | | |
|----|-------|----|-------|----|-------|
| 委員 | 作田 絹子 | 委員 | 村田 健一 | 委員 | 吉野 勝子 |
|----|-------|----|-------|----|-------|

■ 市出席者

| 役 職 | 氏 名 | 役 職 | 氏 名 |
|------------|--------|---------------------|-------|
| 支所長 | 森本 俊規 | 千丁建設事務所長 | 鶴山 信一 |
| 総務振興課長 | 忝島 道則 | 企画政策課長 | 丸山 智子 |
| 〃 振興係長 | 上村 和寛 | 〃 企画係長 | 相澤 誠 |
| 〃 主任 | 沢田 幸一郎 | 〃 主任 | 坂本 友和 |
| 市民福祉課長 | 寺本 修也 | 市民協働部主席審議員 | 森 和昭 |
| 千丁農林水産事務所長 | 黒木 博雄 | 市民活動支援課 住民自治推進係長 | 井戸 康雄 |

■ その他の出席 なし

■ 傍聴者

| | | | | | |
|-------|---|---|------|---|---|
| 一般傍聴者 | 0 | 名 | 報道機関 | 0 | 名 |
|-------|---|---|------|---|---|

1 開会

2 挨拶

3 議題

八代市総合計画策定審議会委員の推薦について【資料1-1、1-2】

4 報告事項

①八代市笑顔 de あいさつ日本一運動について【資料2】

②住民自治によるまちづくりについて【資料3】

③地域要望制度について【資料4】

5 その他

①地域審議会の審議内容について【資料5】

■ 協議事項

○司会

第22回千丁地域審議会開会。会議成立説明。資料確認。

○会長挨拶

○議題

(1) 第22回千丁地域審議会について

①議事「八代市総合計画策定審議会委員の推薦について」

※企画政策課説明要旨

- ・資料1-1 八代市総合計画後期基本計画策定方針の概要説明。
- ・資料1-2、2ページでスケジュール、3ページで前期の委員名簿を説明。
- ・この策定審議会を8月10日に開催する関係上、7月中旬までに各地域審議会を開催し、代表委員一名を推薦する必要があった。ただ、千丁地域は農繁期のため委員の出席が難しいことから、本人の承諾を得て、事前に副会長の福田氏を推薦した。

《意見・質問》

なし

福田副会長挨拶（八代市総合計画策定審議会委員）

○報告事項

①「笑顔 de あいさつ日本一運動について」

※企画政策課説明要旨

- ・シンボルマーク、キャッチフレーズについて
- ・8月1日に行われるあいさつ運動オープニングイベントについて
- ・啓発ポスター、のぼり旗等の配布について

《意見・質問》

委員：あいさつ運動を推進していると言うが、この会議室に来るまで、職員は誰もあいさつをしなかった。まずは、庁舎内から改善する必要があるのではないか。

回答：昨年より職員を対象としてあいさつ推進を行っているが、まだ徹底していない部分もある。まずは職員に対し、あいさつの徹底を行いながら、市民へも呼び掛けていきたい。

委員：顔見知りだけでなく、来庁者全員にあいさつをして欲しい。

委員：今までは、仕事上の職員に話しかけ難い状況だったが、あいさつ運動が始まった事で、今後はこちらから声を掛けやすくなる。

②「住民自治によるまちづくりについて」

※市民活動支援課、千丁支所総務振興課説明要旨

- ・今年度指定した7校区に加え、新たに2校区が追加
- ・千丁校区地域協議会設立準備委員会委員構成、想定スケジュールの報告

《意見・質問》

委員：先行5地域で、指定管理者制度を導入している地区はあるか。また、導入していれば、どのような取り組みを行っているか。

回答：現時点で導入している地区はない。指定管理者制度については、全校区が地域協議会を設立する平成27年度以降に取り組む予定。

委員：第1回設立準備委員会では、正副委員長の決定、千丁の強み、弱み等の意見を出すところまで行った。次回の会議では、これらの意見を繋ぎ合わせる作業をしていく。設立準備委員会委員へ、皆さんの意見を投げかけていただければ、よりよい住民自治ができると思う。

委員：公募委員は2名の予定だったのか。

回答：2名の予定で募集をし、ちょうど2名の応募をいただいた。

委員：公募委員の募集は、市政協力員が回覧板で回した。

委員：設立準備委員会の委員に女性が6名では、女性の意見が反映されないのではないか。意見が言いやすい雰囲気を作って欲しい。

委員：地域住民の意見を設立準備委員会に反映させたいと考えている。委員へ意見を提案してもらえれば、会議の中で検討したい。団体に所属せず千丁地域で活躍する人の意見も必要と考える。

委員：地域住民から設立準備会委員へ意見を提案する事ができるなら、それで構わない。

委員：各種団体に所属していない人へも情報が入るように周知して欲しい。事務局から区長へ住民自治に関する情報を提供するようお願いしたい。

委員：住民自治に関する回覧を何度か回したが、あまり見られていない。

回答：地区に住民自治に関する情報が届いていないのは聞いている。設立準備委員会の状況は、早めに経過報告をしなければならぬと考えている。

委員：資料の中にある想定スケジュールで住民への報告が書かれているが、このスケジュールより早く報告する必要がある場合は、設立準備委員会の中で検討し、住民へ報告するよう提案していきたい。

③「地域要望制度について」

※市民活動支援課説明要旨

- ・各校区から出されていた校区要望を、地域要望に名称変更
- ・提出時期、提出先、様式等の変更点について説明
- ・窓口を市民活動支援課に一本化

《意見・質問》

委員：市政協力員は、地域要望を7月に提出した。

回答：各区の要望という形で、7月中旬までに支所へ提出されている。現在、取りまとめ作業中で、8月中旬に行う市政協力員会で、校区の要望として可能な限り順位づけを行い提出する。

委員：この制度は今年から実施するのか。

回答：昨年までは校区要望として区長会から出されていた。今年から地域要望として改めて始まった。

委員：この制度は、いい事だと思う。要望に対する回答が出される。今までは提出期間がばらばらであった公民館整備や防犯灯の要望も一緒に回答がなされる。

委員：各集落の要望は、どのような形でまとめたのか。

委員：区の評議員で要望をまとめて提出している。

委員：全ての人意見が反映される制度にして欲しい。一部の人の意見でまとめると不満が出てくる。

委員：意見集約の仕方は、区によって違う。

委員：今回、要望書の提出方法が変わったので、要望の意見集約方法も、今までのような一部の人で取りまとめる方法でいいのかと考える。意見の集

約方法を、勉強会等を行い統一できないかと思う。

委員：他地区の意見集約方法は分からない。

委員：部門ごとに要望を出せるのはいい事だと思う。

○その他

①「地域審議会の審議内容について」

※企画政策課説明

・第21回各地域審議会の協議内容、結果報告

＊合併効果の検証について

＊市民アンケートの結果について

＊住民自治によるまちづくりの推進について

＊平成24年度主要事業について

《意見・質問》

委員：産業活性化ビジョンは、いつ策定されたか。

回答：平成24年3月の議会終了後に公表され、八代市のホームページに掲載されている。概要版の冊子は、商工振興課で配布している。

《その他意見》

委員：6月17日から18日、雨により千丁地域は冠水した。大鞘川改修の進捗状況、完成時期、完成図、現在の冠水状況を、どの程度把握しているのか。

回答：ポンプ場は、ある程度の進捗が行われたが、河川の築堤は予算が見込みより低く、当初は平成30年度を計画年度としていたが、予定より遅れる見通し。地区住民の被害の現状も踏まえ、県へ要望していく。

委員：築堤の範囲はどこまでか。

回答：築堤は大鞘川、夜狩川の一番下流が昭和と二の丸、鏡第2大鞘橋で、一番上流はJRまでが計画区域となっている。当初は地盤から3mの築堤予定だったが、まずは冠水の被害を食い止める事と予算の関係から、暫定として1mの工事を進めている。

委員：改修の完成図がわからない。7月の大雨時、県道から東牟田地区を確認したところ、JRより上流は、い草刈りの機械が道路に上げられており、JRより下は機械が田に入ったままであったため、上流が浸水する事がわかる。今まで冠水していなかったビニールハウスも被害を受けた。東牟田地区は毎年、冠水するため、知人が新築を断念した。このままでは、人口流出も考えられる。

回答：今回の状況を踏まえ、県へ強く要望していく。

委員：今まで冠水しない所が被害に遭う状況で、土のうでは間に合わない。数年前、八千把川でがけ崩れがあったが、土地改良区は予算がないとの

理由で、しばらく工事がなされなかった。改修する方法はないのか。

回答：八千把川は、農業用排水路として位置づけられ、現在は北部土地改良区の管理である。

委員：河川に昇格できないのか。

回答：河川として昇格できるかは調査の必要がある。

委員：資料1-2一番下に「基礎調査（平成23年度実施済み）」と書かれている。その資料があれば知らせて欲しい。また、計画検討スケジュールに書かれているアウトカムとは、どういう意味か。

回答：基礎調査は、次回の地域審議会で提示したいと考えている。

アウトカムとは、事業に対する成果である。下水道普及率や道路整備などの単純な事業目標ではなく、事業を行った事による成果である。

○閉会

第22回千丁地域審議会閉会